

那須塩原市 議会だより

第64号

平成28年8月20日発行

栃木県那須塩原市
議会だより編集委員会

6月定例会



議会運営委員会主催の勉強会



議会改革度ランキング 178位から65位へ上昇!!

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会による

～今号の見どころ～

議会報告会&意見交換会開催

P2~P3

議会改革度ランキングとは?

P18

共通テーマ **“公共交通について”** 第2弾 **意見続出!!**

第7回議会報告会（5月開催）の概要

これまでの開催結果を検証して、今回新たに取り入れた改善点

- ①報告会の部分をコンパクトにし、意見交換会の時間を多くしました
- ②宣伝カーを導入しました（テープ録音も運転も議員が担当）
- ③イメージを柔らかくするために、各会場担当議員の似顔絵をチラシに取り入れました



似顔絵を取り入れたチラシ

市内3会場に参加された70名の市民の皆様から、活発にご意見やご要望等をいただきました。今後の市政や議会活動に反映させるよう努めてまいります。貴重なご意見を、以下に抜粋してご紹介します。

1. 路線に関するもの

- 利用の少ない路線の検討及び効率の良い見直しをして欲しい
- 路線バスとしてではなく、デマンド式にして欲しい
- 高齢者に対し、ゆ〜バスの路線図・時刻表をもっと周知して欲しい
- 那須塩原駅から板室温泉行きのバスがない。東野バス・JRバスとの連携を良くして欲しい

2. 時刻に関するもの

- 午前中早い時刻と、午後の遅い時刻のバスがない ●板室温泉からのバスの最終便が19時なので早すぎる

3. 運行本数に関するもの

- 病院、買い物に利用しているが、本数が少ない ●もっと本数を増やして欲しい
- 病院に通院する利用者が多いと思う。那須脳神経外科病院からその他の病院への便数を増やして欲しい

4. 停留所に関するもの

- 予約ワゴンバスは、バス停まで行かなければならず不便である。ゆ〜バスの路線上であれば、すべてフリー乗降にして欲しい
- 市のバスの恩恵を受けていない場所に住んでいるが、バス停につなぐものが欲しい

5. その他

- 予約ワゴンバス、ゆ〜バスを知らない人が多いので周知方法の検討をして欲しい
- パンフレットを配布して欲しい ●利用していない人の意見・データを取って欲しい
- 予約ワゴンバスの利用方法の相談に答えて欲しい ●十勝バスを参考に小さいバスで運行して欲しい(板室地区)

参加者アンケート結果

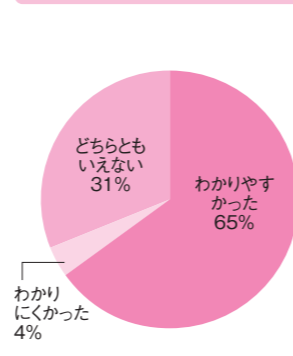
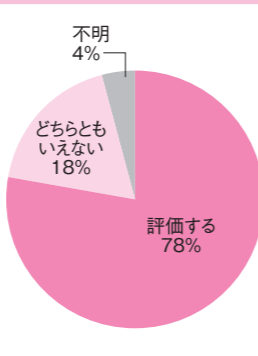
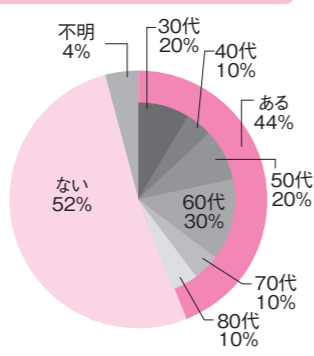
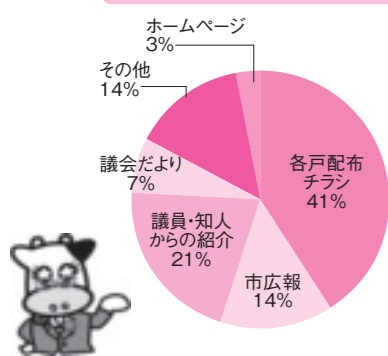
- 「各戸配布チラシで開催を知った」という回答が**増加** ●「報告会を評価する」という回答も**増加**
 - 「報告会の内容についてわかりやすかった」という回答が大きく**増加** ●アンケートの回収率が**低下**
- 全体的に良い評価が得られたことから、改善の方向性を維持して今後も継続していきたい。また、アンケートの回収率について改善を図っていききたい。

開催を何で知りましたか？

市議会を傍聴したことは？

今回の報告会の評価は？

内容はわかりやすかったですか？



活発な意見で盛り上がる! (一部を抜粋して掲載致します)

それぞれの会場で出された意見、要望

“地域住民たすけ合い事業”
鍋掛公民館 参加者20名
5月24日

- 社会福祉協議会や民生委員しか知らない情報があり、地域では活用できない
- 市と社会福祉協議会の連携を調整して欲しい
- 見守り活動の先進地や事例を示して欲しい
- 農村地域では元々のつながりがあり、改めて実施する必要があるのか
- 自治会長は市から仕事を丸投げされているようで多忙である



“高林を元気にしよう” ~何でも伺います~
高林公民館 参加者22名
5月25日

- 戸田小、穴沢小の廃校を利用して、スポーツ少年団の合宿としての利用をしてはどうか
- 跡地を市民の活動の場にしたい
- 高林地区全体に閉店した所の看板が残ったままになっているので、観光で人を呼ぶことに支障をきたす恐れがある
- 高林地区の活性化について、高林公民館が中心となり色々やって欲しい



“市民のみなさまと考える那須塩原市”
南公民館 参加者28名
5月26日

- 市内の若者の行動を知ろう
- 自分のまちを愛そう
- 農業・福祉連携で障がい者、高齢者が活躍できるようにして欲しい
- 那須塩原駅魅力向上のため、駅ビルが欲しい
- 若者に希望と夢の持てる那須塩原にして欲しい



会場テーマ以外の意見・要望

☆議会に対する意見・要望

- 市民の意見等を取り上げる活発な議会であって欲しい
- 放射能対策に関し議会で採択したものは、責任を持って取り組み行動して欲しい
- 庁舎建設に関し行政機能が低下しない程度、必要以上のものにならないよう議会からも働きかけて欲しい

☆市執行部に対する意見・要望

- 隣接市町との乗入れ連携が必要。関谷～野崎駅、関谷～矢板駅の路線が欲しい
- 福祉タクシー券に該当しない障がい者もケースバイケースで認めて欲しい
- 市役所の各課の連携を密にして欲しい

アンケート自由記述による意見・要望(一部抜粋)

- 今一人暮らしや75歳以上の夫婦に対する見守りについて、どのような取り組みをしているか、他の地区との交流会等を開いて欲しい
- 議会報告会よりも意見交換会という形でもよいのでは
- 自分の住む街を良くしていくことが多くの人の希望だと思う
- 今後とも議会報告会のような市民の声が届けられる場を設けていただきたい
- 公共交通を移動手段として利用する市民のために、バス停の設置場所、本数等を十分議会でも審議して、交通弱者の手段をうばうような事にならないようにして欲しい



※どなたでも参加できますので、皆様も議員との意見交換に参加してみませんか？
次回は11月開催予定です。議員一同お待ちしております。



委員会の主な審査 と所管事務調査

平成28年第3回那須塩原市議会定例会のあらまし（6月3日～6月24日）

市長からは人事案件1件、平成27年度補正予算案件1件、平成28年度補正予算案件3件、条例の一部改正案件7件、報告案件8件、その他の案件3件の合計23件が提出されました。議会からは、報告案件2件、その他の案件2件の合計4件が提出されました。

予算常任委員会

■平成28年度 那須塩原市一般会計補正予算（第1号）について

概要

《歳入歳出の補正》歳入歳出それぞれ7,903万5,000円を追加し総額を473億3,903万5,000円とする。

- ・結婚対策事業費500万円追加
- ・防災・安全交付金事業費3,413万6,000円追加
- ・空き家対策事業費225万円追加
- ・学校指導事務費351万8,000円追加
- ・小中学校ICT事業費2,233万8,000円追加

《債務負担行為補正》

平成28年度ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム管理業務委託、平成28～31年度で限度額4,554万8,000円の追加。

《地方債補正》

道路橋りょう債限度額を6億6,540万円に変更。住宅債限度額を2,690万円に変更。

主な質疑

【結婚対策事業】

◎男女共同参画費、結婚対策事業の結婚に関する市民意識調査の内容は？

▲調査対象は25～45歳、男女各1,000人、結婚に対する考え方を15問程度のアンケート方式で実施、総合戦略の策定も含めて業者に委託する。

【緊急スクールカウンセラー事業】

◎緊急スクールカウンセラーと緊急準スクールカウンセラー人数と内容。

▲スクールカウンセラー2名、準スクールカウンセラー3名を雇用し、7小学校を担当する。

【小中学校ICT事業】

◎タブレット機器が日新中と鍋掛小に配備される。日新中にはタブレット使用経験のある豊浦小児童と経験のない鍋掛小児童が入学してくるが配慮はあるか？

▲教育情報化推進指導員を配備し、子どもたちや先生方のサポートにあたる。

【債務負担行為】

◎「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム管理業務委託」の内容は？

▲ボタンを押すとコールセンターにつながり、保健師等が対応するシステムで、固定式と携帯式がある。また定期的に伺うサービスも行っている。システムには、全国の通信業者や警備会社が参入しているため、価格競争だけでなくプロポーザルで選定する。

【空き家対策事業】

◎3件の補助制度のうち、子育て世帯転居の補助額をもっと多くする議論はされたか、また、重複して受けられるか？

▲10万円の提案があったが、学校の転校にかかる費用が5万円弱であり、5万円になった。3件の補助制度は重複して受けられる。

【若松団地6号棟 屋上防水改修】

◎防水施工面積と平米単価は？

▲施工面積493㎡、約2万円/㎡である。

【防災・安全対策交付金事業】

◎道路用地の購入費減額の理由は？

▲複数年かけて用地購入する中、今年度対象とする面積が減るため。

【委員会録】配信中!

各常任委員会の会議録を配信しています。付託議案に対する常任委員会内での審査内容をぜひご覧ください。

那須塩原市議会 会議録 と入力し検索



総務企画常任委員会

■所管事務調査について 6月17日

- ①詰所建設を予定している塩原消防団第1分団第4部及び、塩原消防団第3分団第2部の建設予定地と現在の詰所を視察
- ②刈子の湯源泉湯導管修繕の概要、現状等を現地にて所管部課長から説明を受けた
- ③那須地区消防組合西那須野消防署塩原分署及び那須地区消防組合黒磯消防署板室分署を視察し、各署における施設や設備、人員配置など消防体制の現状と課題を組合本部職員より説明を受けた



塩原分署

福祉教育常任委員会

■財産の取得について

《議案の概要》市内の小中学校では年次計画により計画的にコンピューターの機器更新をしており、それに合わせてデジタル教科書も導入している。現在機器更新が済んでいないためにデジタル教科書の使用ができていない小学校11校と中学校9校について、購入して活用してもらいたい。購入価格が2,000万円を超えることから、議会の議決を求めるもの。

質疑 購入後、パソコンを更新した場合にも使用することができるのか。

答弁 フリーライセンスで購入するため、パソコンの変更や増設の場合にも使用できる。

質疑 教育の平等の観点から、全小中学校一斉にコンピューター機器の更新はできないのか？

答弁 計画通りに進めていくと最後に機器の更新ができる学校は数年先になる。どの学校でも一斉に使えるようにと今回教材の購入を考えた。

建設経済常任委員会

■黒磯那須共同火葬場組合規約の変更について

《議案の概要》現在、市民が使用する場合、旧黒磯市民と旧西那須野及び塩原町民では使用料が違っていたが、那須塩原市民であれば5,000円に料金を統一するというもの。

質疑 これによって市の負担金はどうなるか。

答弁 若干増える計算になる。

■請願第1号 危険交差点に関する請願書について

《概要》野間地区を通る県道72号線と、市道渡辺野間線の交差するところが危険なので、道路の拡張と横断歩道の設置を求めるもの。

意見 現地の交差点を視察して現況の危険なことはわかった。また地権者の同意も得られそうだということなので、採択すべきと考える。

■所管事務調査について

6月17日に請願の審査に先立ち、現地の交差点を視察した。午後には「板室温泉活性化委員会」の方々と、ハナモモの植栽、三大祈願祭、板室温泉の現状や今後の課題について活発な意見交換をした。その後、議会報告会で意見のあった板室ダム湖にたまった砂利の状況を確認して、カヌー体験などに影響が出ていることがわかった。木の俣園地に植えたハナモモの状況を確認して調査を終えた。

6月20日は、黒磯地区と西那須野地区の2班に分かれてゆ～バスに乗車し、運行状況や停留所の調査をした。職員も同乗していたので課題など意見交換ができた。また、議会報告会で指摘された烏ヶ森公園の噴水について視察し、都市整備課から公園施設長寿命化計画の中で撤去することになっていると説明を受けた。



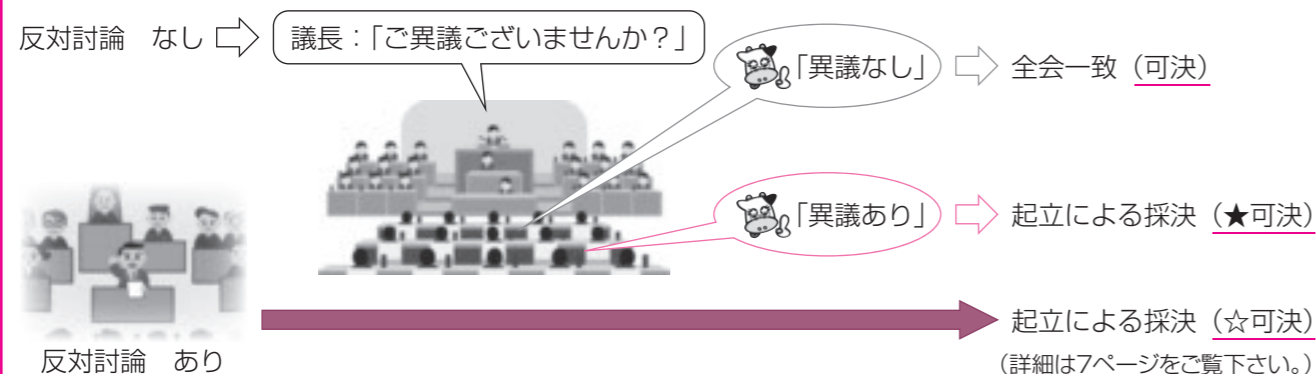
板室温泉活性化委員会との意見交換会

議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。
【会期：6月3日～6月24日】

議案番号	件名	結果
同意第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について（津布樂光恵氏・印南誠一氏）	同意
議案第42号	平成28年度那須塩原市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第43号	平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第44号	那須塩原市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第45号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第46号	那須塩原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第47号	那須塩原市健康長寿センター条例の一部改正について	可決
議案第48号	財産の取得について	可決
議案第49号	黒磯那須共同火葬場組合規約の変更について	可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて〔平成27年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）〕	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて〔那須塩原市税条例等の一部改正〕	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて〔那須塩原市都市計画税条例の一部改正〕	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて〔那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正〕	承認
発議第4号	総合計画審査特別委員会の設置について	可決
発議第5号	議員の派遣について	☆可決
議案第50号	平成28年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第51号	契約の締結について	可決

「可決」と「☆可決」と「★可決」の違いについて



●会派代表質問に1会派、市政一般質問に15議員

平成28年6月6日から6月15日までの日程で会派代表質問、及び市政一般質問が行われました。それぞれの議員の様々な課題に対する活発な質問内容の一部を要約し掲載いたします。なお、各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

日付	議員名	項目	ページ		
6月6日	① 敬清会【相馬 義一 議員】	(1)「第2次那須塩原市総合計画」について (2)市政運営方針について	10		
6月7日	① 櫻田 貴久 議員	(1)熊本地震から学ぶ本市の緊急災害時の水道対策について (2)観光行政について (3)商店街と「まちづくり」について (4)既存庁舎における市民サービスの向上について	10		
		② 佐藤 一則 議員	(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略について (2)交通安全・交通事故防止等の対策について	11	
			③ 山本はるひ 議員	(1)循環型社会を目指す本市の取り組みについて (2)甲状腺エコー検査の実施と助成について (3)市図書館の今後のあり方と駅前図書館について	11
				④ 藤村由美子 議員	(1)地域住民たすけあい事業について (2)若者の自立支援について
6月9日	⑤ 星 宏子 議員	(1)食品ロス削減に向けての取り組みについて (2)孫育ての取り組みについて (3)福祉サービスを含むワンストップ窓口の設置について	12		
		⑥ 吉成 伸一 議員	(1)公共データの民間開放（オープンデータ）の活用について (2)英語教育について (3)魅力ある公園整備について	13	
			⑦ 相馬 剛 議員	(1)生きがいサロン推進事業について (2)市所有の車両管理について (3)がん検診無料クーポン券について (4)市営墓地、市有墓地について (5)東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致について	13
6月10日	⑧ 伊藤 豊美 議員	(1)農業者の経営所得安定対策等の収入減少影響緩和対策について (2)那須塩原駅周辺整備について	14		
		⑨ 高久 好一 議員	(1)就学援助について (2)学習支援事業について (3)中学の英語教育について (4)指定生乳生産者団体制度廃止について	14	
6月10日	⑩ 金子 哲也 議員	(1)ネオニコチノイド系農薬の使用について	15		
		⑪ 若松 東征 議員	(1)地方分権改革について (2)道路行政について (3)廃校の活用状況について	15	
6月10日	⑫ 齊藤 誠之 議員	(1)ふるさと納税について (2)安定した保育の現場づくりについて (3)子どもの遊び場について (4)教育行政について	16		
		6月15日	⑬ 鈴木 伸彦 議員	(1)雨の日でも遊べる児童施設の設置について (2)烏ヶ森公園の整備拡充について (3)国際医療福祉大学病院前の歩道整備について (4)統計データについて	16
⑭ 齋藤 寿一 議員	(1)旧国立塩原視力障害センター跡地の用地取得と利用について (2)市職員の交通安全管理について (3)小型無人機（ドローン）の活用について			17	
	6月15日	⑮ 平山 啓子 議員	(1)救命率の向上をめざして (2)認知症高齢者の支援策について (3)ケアラー支援について	17	

INFORMATION

インターネット録画映像配信中!

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。

那須塩原市議会 議会中継 と入力し 検索

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。※録画映像は、会議当日より約1週間経過後からご覧になれます。

【6月定例会インターネット中継アクセス数 のべ 1,842人】

ここが聞きたい!

会派代表質問と市政一般質問



第2次総合計画について問う

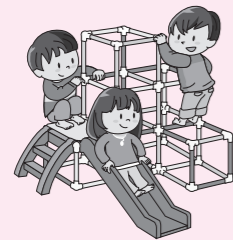
愛と誇りを持てる計画を!

相馬 義一 議員

- 問 第2次那須塩原市総合計画について進捗を伺う。
答 市長 市民、中学生・高校生アンケートの実施等を経て総合計画審議会における調査・審議を踏まえ、10年後を見据えた基本構想の案をまとめたところである。
問 第1次総合計画の検証結果について伺う。
答 企画部長 41の基本政策について重要度と満足度を調査した市民アンケートの結果、重要度が高いのに満足度が低い施策が6施策あった。また後期計画の全200の施策の進捗については、「目標を達成あるいはおおむね達成」が約62%、「現在進行形」が21%、「計画策定時の現状値から動きがない」が約17%である。
問 第2次総合計画の今後の策定スケジュールを伺う。
答 市長 パブリックコメントや地域説明会、市議会との意見交換を踏まえ、平成29年4月からの運用開始に向ける。

市長の市政方針について

- 問 人口減少社会への対策について伺う。
答 市長 総合的な結婚・出産・子育ての支援施策や国・県との協働による雇用の場の創出などにより人口減少克服と地域の活性化に向けてまいりたい。
問 行政連絡員を初めとする非常勤の方の報酬は妥当であるか。見直しの時期かと思うが、伺う。
答 市長 現在行政連絡員の方々から報酬等々に関するお話しは出ていないが、実態を十分に調査したうえ報酬について研究する。
問 今後の那須塩原市の子どもたちをいきいきと育てられる環境づくり、あるいは社会福祉についてしっかりと政策を打ち出していきたいと思うが、考えを伺う。
答 市長 与えられた4年間の任期の中で私が考えたまちづくり、そして将来的に那須塩原市がもっと良くなるまちづくりに向け全力で取り組んでいく。



熊本地震から学ぶ

本市の緊急災害時の水道対策について

櫻田 貴久 議員

- 問 市の災害用井戸の設置状況について伺う。
答 市長 市が管理をしている災害用井戸は、黒磯保健センター敷地内の消防詰所協と、蛇尾川河川防災ステーション敷地内の水防センターの合計2カ所である。
問 断水の影響を最小限に抑えるバックアップ体制は。
答 市長 浄水施設では水源の複数確保や非常用電源として小水力発電や自家発電設備の整備を行ってきた。水の総合運用では、県営北那須水道の有効活用や配水区域間を結ぶ連絡配水管の整備を行っている。
問 武道館等が避難施設に指定されていると思うが、また野球場なども避難施設になると思うことから、そういったところに災害用井戸を考えてみてはどうか。
答 総務部長 避難所への井戸の併設については、今後、研究をしてみたい。

観光行政と日本遺産への取り組みについて

- 問 本市の日本遺産への取り組みについて伺う。
答 産業観光部長 本市の多くの歴史的資源を、日本遺産として広く情報発信することができれば、観光面でも集客が期待できると考えており、文化財を所管する教育委員会等と協議しながら検討してみたい。
問 日本遺産の認定などの取り組みは、近隣市町との連携の一助になると思うが、市長の考えを伺う。
答 市長 今回の明治期の開拓の歴史はやはり共通する課題であろうと思っており、近隣の首長と話をしながら、ぜひとも積極的に進めたいと考えている。

商店街と「まちづくり」について

- 問 商店街の必要性をどのように捉えているのか伺う。
答 産業観光部長 日常の消費生活を支える場であるとともに、多様な交流やにぎわいを創出している場でもあり、市民の生活利便性の向上や、まちの活性化の観点からも、果たす役割は大きいものと捉えている。

既存庁舎における市民サービスの向上について

- 問 新庁舎ができるまで、既存庁舎で市民の求めるサービスに十分応えられると考えているか。また、既存庁舎の課題のうち、新庁舎完成までに取り組むべきものについて伺う。
答 企画部長 平成27年5月に策定した窓口サービス向上に係る行動計画において、満足度の高い窓口サービスの充実に向け、鋭意取り組んでいるところである。また、既存庁舎において、市民サービスの提供に大きな支障が生じる場合には、随時改善に努めていきたい。



まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点施策の現状と課題は?

佐藤 一則 議員

- 問 人口と高齢化率、世帯数、転入・転出者数、出生・死亡者数、従業員数と事業所数の推移について伺う。
答 市長 人口は平成27年の11万8,583人をピークに平成52年には10万7,484人まで減少、高齢化率は、平成22年の19.8%から平成52年には35.1%まで増加すると推計される。世帯数は、平成17年の4万826世帯から平成27年には4万5,563世帯と増加傾向にある。転入・転出者数は、平成22年までは転入超過で、平成23年に転出超過となり、社会動態は減少傾向が続き、出生・死亡者数は、平成25年に自然動態が減少になり、その後も減少傾向が続いている。従業員数は平成18年の5万2,758人から、平成21年には5万5,373人と増加したが平成26年には5万3,518人と減少に転じている。事業所数は平成18年の5,697事業所から平成21年には6,226事業所と増加したが、平成26年には5,725事業所と減少に転じている。
問 人口減少がもたらす影響について伺う。
答 市長 財政状況の歳入では、地方税が平成25年度の約191億9,000万円から平成36年度には約169億3,000万円まで減少、一方歳出では、扶助費が高齢者人口増に伴い平成25年度の約82億円から平成36年度には約96億2,000万円に増加すると試算している。公共施設の維持管理については、平成25年から40年間で大規模改修や更新費用に総額約717億円が見込まれ厳しい財政状況に一層拍車がかかると考える。
問 重点施策について伺う。
答 市長 重点施策に7つのKを定め、雇用、結婚、子育て、教育、暮らし、交流、広報の各分野において「未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために」、「未来を創る地域産業の活性化のために」、「未来に集う人々の活発な交流のために」、「未来を守る災害対応力強化のために」の4つの基本目標の実現に向け横断的な定住促進施策を積極的に連携、推進している。
交通安全・交通事故防止対策について
問 高齢者の事故防止対策と警察連携について伺う。
答 生活環境部長 高齢者学級等で、運転免許の自主返納や運転自粛を個人状況に応じてアドバイスしており、反射材のついたナップザックを配布している。また、警察と協力し交通安全のチラシ等を配布、各種イベントでも啓発用品等配布し周知に取り組んでいる。



甲状腺エコー検査の実施と助成について

不安軽減につながる健康セミナー開催検討中

山本 はるひ 議員

- 問 3月議会で保留した甲状腺エコー検査実施について、検討した結果と今後の方針を伺う。
答 市長 現時点においては甲状腺検査の実施をする段階にないというこれまでの方針を変えないという結論に至った。受診希望者がいることは承知の上、不安解消のために情報提供を行っていききたい。
市民との協働によるごみの減量、資源化について
問 ごみの減量、資源化の現状について伺う。
答 生活環境部長 家庭系ごみの量は目標値よりも少なく、資源化率については13.4%で目標に対して達成度は58.8%、最終処分率については、10.4%で、達成度は53.8%だった。
問 市民との協働によるごみ減量の推進はどうか。
答 生活環境部長 市民、事業者、行政の連携、協働による3Rの推進としてふたつの施策を行っている。一つ目は、3者の情報交換、体制の充実、ごみ減量協力事業者認定、二つ目は、市民の3Rに対する意識を高めていくもの。この成果として家庭系のごみの減量につながってきたと考えている。
意識調査では92.4%の市民が分別していると答え、68.2%が不要なものを買わない、作らないと回答し意識は高まっていると考えている。
問 使われていない清掃センターの解体予定を伺う。
答 生活環境部長 旧黒磯と旧塩原のセンターの解体は、一般廃棄物処理基本計画の見直しの中で検討していきたい。

那須塩原市図書館と駅前図書館のあり方について

- 問 市図書館の基本理念の中での駅前図書館の位置づけについて伺う。また整備状況を伺う。
答 教育部長 「利用者が主役の図書館」を踏まえ、既存の図書館ではできないサービスを提供、交流の場、駅前周辺活性化に資する施設として位置づける。
答 建設部長 28年4月に設計の業務委託契約をした。5月には市民の意見反映のためのミーティングを開催、設計案の説明や意見交換を行った。
問 市図書館の管理、運営の方針を伺う。
答 教育部長 駅前図書館開館の31年度までは指定管理で行うが、その後の管理、運営体制については最適な形態を検討していきたいと考えている。



若者の自立支援について

子ども・若者総合相談センター設立を!

藤村 由美子 議員

問 適応指導教室やメールで指導を受けた児童生徒について復帰後のフォローはできているか。

答 教育長 学校への聞き取り調査や、小中学校からの欠席状況報告並びに、児童生徒サポートセンター教育相談員や指導主事による学校訪問で状況を定期的に把握し、必要に応じて継続的な支援を行っている。

問 中学校卒業後、進学にも就職にも至ってない生徒には適切なフォローが必要だと考えるが、現状は。

答 教育長 いったん卒業すると、かわりを持つことは難しい。

問 市内在住の不登校の高校生や引きこもり状態の若者にメールは利用できないのか。

答 教育長 正直難しいと思っている。

問 引きこもりの若者の人数は把握しているのか。

答 保健福祉部長 数字は把握していない。

問 縦割り行政の弊害で支援が行き届きにくかった若者を支援するためには、実態を調査すべきでは。

答 保健福祉部長 今後社会福祉課の窓口相談で、寄せられた情報の中から数字を把握することはできる。

問 不登校であった児童生徒には継続して支援することが求められていると思うが、市の見解は。

答 保健福祉部長 教育部、子ども未来部、それぞれかわりを持っている。20歳を過ぎた時点で社会福祉の方で関わりをどうつなげていくか、今後検討する。

問 市として相談業務を開始するべきではないか。

答 保健福祉部長 先進地の取り組みについて調査研究する。

問 メールを若者の自立支援の拠点としても利用できないか。

答 教育長 義務教育における不登校児童生徒を減らす活動をしている。ご理解いただきたい。

地域住民たすけあい事業について

問 地域住民たすけあい事業の課題は。

答 市長 地域の問題を、自治会やコミュニティーが主体的に解決する体制づくりを市や社会福祉協議会がどのように支援していくか、である。

問 民生委員には守秘義務があり情報を言えない。かわる方の精神的な負担を軽減する解決策はあるか。

答 保健福祉部長 民生委員と地域包括活動センター職員で各戸訪問し、地域見守り活動で見守っていただけるよう自ら話していただくよう説明したい。



環境にも家計にもやさしく

食品ロス削減の取り組みについて

星 宏子 議員

問 食べられる状態なのに捨てられる食品ロスは、農林水産省によると、日本では年間2,801万tの食品廃棄物が発生し、このうち642万tが食品ロスと推計されている。各家庭の食品在庫の適切な管理や食材の有効活用の取り組みについて支援できるか伺う。

答 生活環境部長 食品ロス削減は食品ロス削減関係省庁連絡会議において、官民を挙げて国民運動を展開している。本市もその重要性は認識しており、消費者行政の立場から、各家庭でできる取り組みについて啓発講座の企画や情報提供等の形で支援することが可能と考えており今後、実施に向けて検討する。

問 京都市で、家庭で出る生ごみの組成調査を実施し、1世帯家族4人の場合、1年間で合計約65,000円を無駄にしているという調査結果が出ている。各家庭でチェックができる食品ロス額チェックシートを作成し、配布をしたらどうか。

答 生活環境部長 各家庭においてチェックシートをつけることで、もったいないという意識が働くので中身については検討し、イベントなどで配布することを検討していく。

孫育て手帳について

問 共働きの夫婦にかわり祖父母が育児を担う機会がふえている一方、子育てに関する世代間のギャップによるトラブルや孫育てに不安を抱く祖父母もいる。那須塩原版「孫育て手帳」を作成する考えはあるか。

答 子ども未来部長 祖父母と良好な関係を保ち協力して子育て・孫育てをすることは大きな安心となるし、孫育て手帳が活用され始めているニュースも目にしているが、今のところ作成する予定はない。

福祉サービスのワンストップ窓口の設置について

問 市役所の窓口においてワンストップ窓口を設置する自治体がふえてきた。本市における福祉サービスのワンストップ窓口の設置について伺う。

答 市長 平成26年度に窓口サービス向上委員会の中で検討した。西那須野支所と塩原支所は、おおむねワンストップ窓口に近い形に設置できているものと評価をしたが、本庁の窓口については、面積的・構造的に設置するのが大変困難であるため、新庁舎において設置を検討するとした。



英語教育について

中学3年で英検3級程度の英語力を

吉成 伸一 議員

問 英語教育に力を注いできたことによる成果をどのように捉えているか。

答 教育長 本市のアンケート調査では「英語が好き」と答えた小学生が89%、中学生が67%であり、全国調査と比べると小学生で17ポイント、中学生で11ポイントそれぞれ高い数値となった。本市の児童生徒の英語に対する興味・関心の高さがうかがえる。

問 英検の中学卒業時における目標を何級に置いているか。また、英検の検定料に対する補助制度の導入を図ってはどうか。

答 教育長 平成29年度末までに50%以上が英検3級程度の英語力を身につけることを目標にしている。検定料の補助については、効果・経費を十分に考慮した上で判断する。

オープンデータの活用について

問 公共データの民間開放（オープンデータ）の活用の考え方とオープンデータ活用推進のスケジュールを伺う。

答 企画部長 オープンデータは、官民協働による公共サービスの提供、企業等がデータの編集、加工、分析などを行い、経済の活性化、新規事業の創出などが期待できる。本市では「那須地域定住自立圏」の共同事業として大田原市、那須町、那珂川町で事業化に向け調整を図っている。

魅力ある公園整備について(東那須野公園)

問 東那須野公園の以前から改善を求めていた点についてどうなったか。また、公園東側の民有地の購入・賃貸の検討をしてはどうか。

答 市長 アジサイ植栽をした団体名のプレートを作成した。那須塩原駅からの案内を市ホームページにアップ、パンフレット等を作成し、駅・観光案内所に設置したい。今後は、東那須野公園の全体のレイアウトをどうするか研究したいと考えている。



市営墓地と市有墓地について

市有墓地の管理を明確に！そして整備を

相馬 剛 議員

問 市営墓地と市有墓地の施設数と区画数、また、その管理の範囲と現状の課題を伺う。

答 生活環境部長 市営墓地は赤田霊園1号・2号、塩原温泉さくら公園墓地の3ヶ所で総区画数は1433区画、市有墓地は、永田墓地、二つ室墓地、二区墓地、上赤田墓地、西赤田墓地、三島1号・2号・3号墓地の8ヶ所で総区画数1744区画。市営墓地は地方債を原資に市が造成し永代使用料と年間管理費を徴収し独立採算で墓地事業特別会計としている。市有墓地は共同墓地を旧西那須野町に管理を移管されたもの、永代使用料は徴収しているが、年間管理費は徴収しておらず、一般会計により管理。市有墓地は、継承者不明、使用者不明の墓地があり墓地台帳を整備するために調査を進めている、平成30年には終了し、管理料や管理内容の説明会を開き、地元の意向を確認して整備方針を決める。現在は、年1回から3回の草刈りや年1回、垣根の剪定と修理修繕を行っている。

生きがいサロン推進事業について

問 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきとした生活が送れるよう、地域の見守り・地域福祉の推進を目的とした事業であるが、市のサポートの現状を伺う。

答 市長 参加団体数は平成27年度末51ヶ所、計画では平成28年度55ヶ所、順調に推移。生きがいサロン補助金交付要綱により内容は高齢者の趣味・奉仕活動・健康体操・各種講話などが行われている。運営のサポートについては、指導者研修、出前講座、新設組織の相談や事業内容の説明やレクリエーションの紹介など行っているが、運営者の確保や継続的運営の体制づくりが課題である。

答 保健福祉部長 要綱では月2回以上、1回3時間、15人以上を対象とした事業でメニューのマンネリ化などに対し、新たな人材ややり方を考えたいと思う。

市所有の車両管理について

問 市所有の車両総数367台、車両購入総額は約11億7700万円と思うが、台数、更新時期の規定、車両一括管理について伺う。

答 総務部長 更新時期の定めは無いが、目安は10年、10万キロ。管理は、部門管理と集中管理車とがあり、市民サービスに支障が無いよう配置。稼働率や業務内容を検証し、より効率的運用をできるよう体制を必要に応じて見直していきたい。



市再生協議会はJAとさらなる連携を

農業者の経営所得安定対策等の収入減少影響緩和対策について

伊藤 豊美 議員

問 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）において、ナラシ移行のための円滑化対策（26年度限り）について対象者の数と再生協議会が農業者に対してどのように対応してきたか、また最終的に申請書を提出しなかった数は何名か伺う。

答 産業観光部長 市の再生協議会が当時の関東農政局栃木支局大田原地域センター、現在の大田原駐在所から預かった申請書の数1,837人分であった。対応については、4月末日を提出期限とする申請書を4月中旬に預かり、書類の発送、回収、取りまとめを行い、5月中旬に大田原地域センターに提出している。再生協議会では、提出期限後に取りまとめを行った段階で407人が未提出となっていたため、未提出の農家に対して電話連絡を行い、新たに75人から申請書の提出をいただいて、最終的な未提出は332人となった。

問 再生協議会がJAと連携して対処すれば未提出の人数が減るのではと思うが、どのように考えるか。

答 産業観光部長 再生協議会には市の職員も、JAの職員も入っており、それぞれが連携を深めて農業者のための組織として働いていくということはそのとおりである。今回の反省を踏まえ、さらに連携を図りながら進めていけるように努めたい。

那須塩原駅周辺整備事業について

問 那須塩原駅周辺整備事業の進捗状況を伺う。

答 市長 昨年度から今年度にかけて那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画策定に係る調査検討業務委託を実施している。

問 都市計画道路3・3・4号線東那須野東通りの進捗状況について伺う。

答 市長 一般県道東小屋・黒羽線の起点振替、延伸により、都市計画道路3・3・2号黒磯那須北線までの整備を栃木県に要望している。

問 3・3・4号線東那須野東通りの整備について市長に託された最初の4年間でどこまで進めるのか伺う。

答 市長 以前から県に要望をしてきた経過があり、今年度も大田原土木事務所との事務連絡会議の中でも強く要望をした。8月には県へ対する要望というのがあり、この中にも掲載をし、起点の振替等について強く要望をしたいと考えている。限られた4年間の任期の中で、できる限りこの路線が着工できるような形でこれからも取り組んでいきたい。



市は子育て世帯へきめこまやかな支援を！

就学援助について

高久 好一 議員

問 就学援助は、経済的に厳しい世帯の小・中学生の学用品や給食費など補助する制度となっている。本市の認定者数の推移と対応はどのように行われているか。

答 教育部長 認定者数は小中学校合わせて23年度662人、24年度684人、25年度677人、26年度735人、27年度844人と年々増加傾向にあり、申請は例年、年度初めだけではなく、随時受付を行い、子どもが在籍する学校が受付窓口となっている。

問 全国的に学校の健診で虫歯の治療が必要と診断されても、子どもの半数も受診していない地域があることが医療団体の調査で判明している。家庭の経済的事情が一因と見られますが、本市の場合はどのようになっているか。

答 教育部長 虫歯の治療が必要と診断された子どもには、学校からの申請に基づいて医療券を交付し、治療費の自己負担分を就学援助費として補助している。しかし、本市の場合も医療券を使用して治療する生徒は例年該当する児童生徒の半数程度となっているため、各学校では養護教諭を中心に受診をすすめている。

生乳生産本州一を守る対策を！

問 市が基幹産業と位置付ける酪農に大きな影響を及ぼす指定生乳生産者団体制度を廃止するという改革が国の規制改革会議に掲げられた。酪農を守り、発展させるため、市はどのように捉えているか。また、市として生産者団体と連携し、国への要請は考えているか。

答 市長 生乳は日もちせず、日々需要も供給量も変化する特性があることから、生乳指定生産者団体の果たしている乳業メーカーとの調整や、牛乳等の飲料向けとチーズ等の加工向けへの配分調整等の役割は大きいものがあるのとらえている。

政府の規制改革会議の動向を見極めながら、情報の収集に努め、関係者団体等と連携を密に図り、必要対応を検討したい。



ニホンミツバチが各地で大量死

ネオニコチノイド系農薬の使用について

金子 哲也 議員

問 ニホンミツバチが大量死し、果実や野菜の受粉に全国的に大打撃をこうむるニュースが報道された。日本だけの問題でなく、世界中で大問題になっていた。昆虫を初め小鳥や小動物が減少しているという。世界中の科学論文から、ネオニコチノイド系の浸透性農薬が生態系全体にはかり知れない影響を及ぼしている可能性を警告している。被害は子どもの育成にも波及しADHD（注意欠如多動性障害）や自閉症など、発達障害のリスクが取り沙汰され、農業従事者にはパーキンソン病を初めとする神経難病が多発しているという。ネオニコチノイド系農薬のヘリコプター散布をこのまま放置してもよいのか。減農薬のための何らかの手を打つ必要があるのではないかと伺う。

答 市長 本市においても減農薬、減化学肥料による農作物の栽培を促進するため、国の環境保全型農業直接支払交付金事業を活用し、環境保全効果の高い営農活動を推進している。

問 これは農業問題だけではなく、環境問題として捉えたときに、市として今後どのように取り組むか。

答 生活環境部長 ネオニコチノイドについては、家庭用殺虫剤、シロアリ駆除剤、または住宅建材など、生活環境の中での使用が広範囲に及んでいる。人体の影響については、まだまだ分からないところが多く、直ちに使用を全廃することは難しい状況であることから、国等の動向を注視しながら、引き続き情報収集に努めていきたいと考えている。



住民の信頼を確保し得る取り組みを

地方分権改革について

若松 東征 議員

問 介護保険制度に関する制度改正及び低所得者対策について伺う。

答 保健福祉部長 直近の改正では、平成28年度から、定員18人以下の通所介護事業所の地域密着型サービスへの移行に伴う指定・指導監督の権限が移譲された。低所得者対策については、保険料に限ると、第6期高齢者福祉計画期間の平成27年度から、保険料第1段階に対して、保険料負担の軽減を介護保険条例に規定し、実施している。また、きめ細やかな保険料設定を行い、所得による負担の公平化を図っている。

問 少子化対策に関して、子ども・子育て施策についての支援新制度の実施について伺う。

答 子ども未来部長 全ての子どもや子育て家庭への支援を総合的に推進するために、27年3月に「那須塩原市子ども・子育て未来プラン」を策定し、さらに本年3月には、「那須塩原市保育園整備計画」を改定した上で、子育て施設の整備や、その他の子ども・子育て支援施策を順次進めているところである。

問 地域雇用対策及び若者雇用対策について伺う。

答 産業観光部長 製造業を中心とした企業誘致等を行ってきた。また、「雇用対策に関する協定」に基づいて「雇用対策運営協議会」を設置し、若者の雇用対策、U・I・Jターンの促進、子育て中の人や障がい者等への就業支援、産業振興と雇用創出・雇用確保の一体的な取り組みを柱とした施策の検討、協議を進めている。

問 地球温暖化対策に関して、再生可能エネルギーの導入等の財政措置を初めとする支援体制について伺う。

答 生活環境部長 住宅用の太陽光発電システムの設置者を対象に、設置費用の一部を補助している。また、昨年度、住宅用蓄電池設置費補助事業を創設した。

道路行政について

問 市道123号線豊浦・新堀線のポストコーンについて、歩行者が利用できる場所が狭くなっており危険である。ポストコーン以外に歩行者を守る方法はないかと伺う。

答 市長 地元要望により、拡幅部分を通学児童の通行帯として分離するため設置したもので、要望者及び用地寄附者からの意向を踏まえたものである。ポストコーン以外の歩行者を守る方法については、歩道整備のほか、カラー舗装などがあり、歩道整備には用地と財源確保の課題があるため、現段階ではポストコーンによる方法が適当であると考えている。



児童が主役で集まることができる施設

全天候型の子どもの遊び場の建設を！

齋藤 誠之 議員

問 本市には全天候型の子どもたちの遊び場がない。新たな遊び場の確保としての考えを伺う。
答 子ども未来部長 本市が平成25年度に未就学児の保護者を対象として実施した子ども子育て支援事業ニーズ調査の結果では、子どもが安心して遊べる場所が欲しい、雨天でも遊べる屋内施設が欲しいなどの意見が多く見られた。市としては、既存施設の活用を初めとしたハード面の整備はもちろんのこと、子どもの成長発達の過程において重要な役割を担う遊び環境のあり方について調査・研究を進めたいと考えている。

安定した保育の現場の充実を

問 現在保育園で働く保育士の方が、妊娠・出産等で産休をとって一度保育園を離れる状況があったとき、また保育園で働きたければ優先的に園に迎え入れるようなことをやっていただけないかとかいうような話はされたことがないか伺う。
答 子ども未来部長 本市においては、保育の認定を行う際に、母親・父親のどちらかが保育士であるということで特別な配慮はしていない現状がある。ただ、公立・私立も含めて保育士をいかに確保するかが最重要課題になっているので、早急に優先して保育士の子どもを、保育士資格を持っている方の子どもを認定して保育園に入れるという方向性も出さなければならぬ重要な課題として考えている。

ふるさと納税制度における返礼品の充実を

問 種類の拡充は今後も十分な準備が必要であるが、こういった返礼品として登録をし、受注があれば事業者の励みになるので、まちおこしに使えるのではないかと考えるが本市の考えを伺う。
答 企画部長 企画部だけではなくて市全体ということになるので、産業観光部や、JA、商工会、そして産直の皆さん等々と相談をする中で、魅力ある返礼品を作って、少しでも浄財の獲得をしていきたい。



第2次那須塩原市総合計画作成に向けて

雨の日でも遊べる児童施設について

鈴木 伸彦 議員

問 人口減少対策や子育て支援の観点から効果を期待できるものとして、雨の日でも遊べる児童施設設置について伺う。
答 子ども未来部長 意識啓発や情報提供なども含め、ハード面とソフト面の両面から子どもの遊び環境のあり方について、調査研究を進めてまいりたい。
問 三島地域を例に、住居地域への若い世代の誘引、既存市街地の空き家対策、コンパクトシティ促進などの観点からも有効と思うが伺う。
答 子ども未来部長 市の全体的なところから場所を検討しなければならないが、コンパクトシティという点においては、現時点では明確な答弁はできない。

烏ヶ森公園の整備拡充について

問 この公園を単に修繕し長寿命化を図るだけでなく、市のイメージアップや地域活性化、定住促進につながる検討を願いたい、考えを伺う。
答 建設部長 今後においても、単に公園施設を更新するだけではなく、市民の憩いとレクリエーションの場を提供するため、よりよい施設にしていきたい。

国際医療福祉大学病院前の歩道整備について

問 概要及び予定完成時期について伺う。
答 市長 道路整備の概要については、歩行者の安全を確保するため、病院前の市道石林・東赤田線の延長2,100m区間について、幅員3.5mの歩道を病院側に設けるものであり、事業費は約2億7,000万円を見込んでいます。平成27年度から整備に着手しており、完成時期は平成30年度を予定している。

統計データについて

問 第2次那須塩原市総合計画を審議していく上で、本市の現状を把握することは重要である。合併後地域が広くなり、旧3市町行政区くくりのデータのままではその動向がつかみにくい。細かな地域ごとのデータ作成を検討してほしいと思うが、考えを伺う。
答 企画部長 統計データは人口を初めとして、施策立案等に大きな役割を果たすと考えている。数値化されたさまざまな統計データを可能な限り細分化するなど、整理・分析を加え、有効性の高いオープンデータとしての提供について検討していく。



跡地の用地取得と利用について

旧国立塩原視力障害センター

齋藤 寿一 議員

問 用地取得に関して国とのこれまでの経緯と経過について伺う。
答 市長 平成26年5月に宇都宮財務事務所宛てに用地の取得費用等について、特段の配慮をいただけるよう要望書を提出した経緯があり、それ以降、当該用地の取得に向け、宇都宮財務事務所と協議を進めている。
問 取得可能となった場合の跡地利用をどのように考えているか伺う。
答 市長 旧塩原視力障害センター跡地は、塩原温泉の玄関口に位置しており、観光振興の拠点となり得る場所であるとともに、大正天皇の御用邸跡地であったことから、現時点では公園的な利用としての整備を考える。
問 大正天皇の御用邸跡地であり、防空壕や温泉の源泉など歴史的遺産であることから残してもらうよう、市から国へ要望していることについて伺う。
答 企画部長 要望したとおり対応いただいている。

市職員の交通安全管理について

問 交通事故防止対策として、職員にどのように周知徹底を行っているか伺う。
答 総務部長 安全運転講習会を毎年度1回開催しており、講習会については、生活環境部の交通教育指導員を講師に運転する際の心構えなどの内容で行っている。

小型無人機(ドローン)の利活用について

問 小型無人機(ドローン)を市で購入するが、その目的と利活用について伺う。
答 企画部長 上空から移動による映像の撮影であり、カメラを搭載する機種を購入しており、ドローンによって普段目に見ることがない映像を撮影し、市のホームページ等に組み込むことで新たな魅力的な情報発信に努めていきたい。
問 JUIDA*は日本で初となるドローンの操縦者及び安全運航管理者養成スクールの認定制度をスタートさせたが管理または使用等をどのように考えているか伺う。
答 企画部長 必要に応じて操作研修等も受講し、適正かつ有効に利用していきたい。

*JUIDA…一般社団法人 日本UAS産業振興協議会



AED設置について

救命率の向上を目指して

平山 啓子 議員

問 市内のAED設置状況(公共施設等)と、イベント等への貸し出し台数について伺う。
答 市長 設置台数は97台であり、貸し出し台数は1台である。
問 更新時期にはリース方式の契約も検討してはどうか。
答 保健福祉部長 現在の買い取り方式、それともリース方式が有利なのか検討してまいりたい。
問 休日、夜間、緊急時等のAED使用について伺う。
答 市長 市内公共施設が開いている時間に使用できる。
問 市内小中学校の校舎内に設置されているAEDを屋外型収納ボックスに移設することについて伺う。
答 教育部長 学校における心停止の事例を見ると、校庭や体育館での運動中に発生しており、一刻も早く対応するためには、AEDを屋外に移設することは非常に有効である。今後、可能かどうか検討したい。
問 市内の交番やコンビニにAEDを貸し出し設置することについて伺う。
答 市長 施設の管理者の考え方と思われることから貸し出しする予定はない。

認知症高齢者の支援策について

問 本市の認知症高齢者は何人か。2025年には何人と推計されるか。
答 保健福祉部長 平成26年10月現在2,846人。団塊の世代が75歳以上になる2025年は6,360人と推計される。
問 本市の緊急メールを活用し、徘徊高齢者の早期発見事故防止に活用してはどうか。
答 保健福祉部長 緊急メールの活用は有効であると考えるが、運用に際しての個人情報の取り扱いや手続上の問題等について研究をする必要がある。
問 現在「みるメール」登録者数は何人か。
答 保健福祉部長 7,642人と聞いている。

議会改革度ランキングについて

(早稲田大学マニフェスト研究所ホームページ等より抜粋)

・那須塩原市議会は、平成27年度における議会改革度ランキングで大幅な上昇をしました。そのランキングとは一体どのように決められているかをご紹介します。

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査の目的

- ①全議会における改革度状況（傾向）の確認
 - ・全国の地方議会の改革度がどのような状況にあるのかを確認・提示します。
 - ・経年比較により、改革の進行スピードや方向性を確認・提示します。
- ②議会による自己評価および改善策の提示
 - ・自議会が改革度でどのステータスにあるのか、どこを強化すべきか確認できる指針を示します。

1. 本調査は77の設問回答方式（2015年度は1,460議会が回答）
2. 総合順位は議会が果たす役割として、「情報共有」「住民参加」「議会機能強化」の3つのカテゴリの点数を掛け合わせてランキング化しています。（下記表にそれぞれの詳細）

総合順位	都道府県	議会名	個別順位			個別得点			合計得点（積）	
			情報共有	住民参加	機能強化	情報共有	住民参加	機能強化	和(参考)	
63	岩手県	岩手県議会	132	201	44	337	296	578	57,657	1,211
64	愛知県	知立市議会	282	27	104	280	414	493	57,149	1,187
65	栃木県	那須塩原市議会	159	95	94	323	347	506	56,713	1,176
66	福岡県	大牟田市議会	231	15	195	295	463	413	56,410	1,171
67	京都府	長岡京市議会	7	123	324	505	330	338	56,328	1,173
68	兵庫県	加西市議会	25	338	118	460	250	482	55,430	1,192

総合順位	都道府県	議会名	個別順位			個別得点			合計得点（積）	
			情報共有	住民参加	機能強化	情報共有	住民参加	機能強化	和(参考)	
65	栃木県	那須塩原市議会	159	95	94	323	347	506	56,713	1,176

議会改革度2015で追加された視点

情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・質点結果・理由、視察報告、政務活動費の詳細な公開 ・議会だよりの改善・工夫点、HPやSNSの活用 ・広報（広聴）に関する効果的な戦略の策定や検証
住民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・傍聴しやすくするための具体的な工夫 ・参考人招致、公聴会の実施、傍聴人の発言機会 ・シティズンシップの取組み ・議会報告会の参加者を増やし、充実させる工夫 ・住民から出された意見を政策につなげる仕組み
機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・議会基本条例の検証（自己・第三者・市民評価）、改正 ・議会改革に関する実行計画の作成、PDCAサイクル ・修正案や提言書の提出、予算決算・地方創生の取組み ・委員会における所管事務調査のテーマ設定、視察・報告 ・議事事務局強化、議会図書室の活用、調査研究のための環境整備

議会改革度2015の視点と特徴

本年は、我が国初の議会基本条例が制定されてから10年目を迎える節目の年です。この間、いわゆる議会改革と呼ばれる議会活動の中身も変化してきました。また、地方分権の進展や人口減少などによる地域経営の視点の重視などから住民の議会へ向けられる意識も一層厳しくなっています。

早稲田大学マニフェスト研究所は、これからを「議会改革の第2ステージ」と捉え、「議会のための議会改革（自己満足型議会改革）」ではなく「地域課題を解決する議会（住民の役に立つ議会活動）」に取り組む議会が増えることを目指します。

さらに詳しく知りたい方は→

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会ページ
<http://www.maniken.jp/gikai/>

那須塩原市議会は、平成24年3月に議会基本条例を制定し、独自で改革を進めてきました。その取り組みをさらに進化させるため、議会としての指標を確認する意味でも、早稲田大学マニフェスト研究所が掲げる「情報共有」「住民参加」「議会機能強化」の3つのカテゴリを軸に新たな取り組みを行っています。



議会活性化検討特別委員会主催の講演会

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会から、市議会議員在職永年表彰および全国市議会議長会評議員としての会務運営に関する感謝状の贈呈があり、6月定例会の初日にそれぞれの議員に伝達されました。



評議員としての会務運営に関する感謝状
中村芳隆議長



市議会議員在職 25年特別表彰 人見菊一議員



市議会議員在職 15年表彰 齋藤寿一議員

第6回議場コンサート



モーツァルト合奏団による弦楽カルテット

平成28年6月6日(月)、市内在住の演奏家による議場コンサートを開催しました。6月定例会では初めての開催になります。6回目を迎えた今回のコンサートは、6月13日からのリンツ市との姉妹都市提携を前に、県北地域で活動する弦楽合奏団「モーツァルト合奏団」が日本とオーストリア共和国にまつわる名曲の数々を披露しました。

議場には39名の方が鑑賞に訪れ、素晴らしいカルテットのハーモニーに耳を傾けていました。

これからも市民に親しまれる議会を目指し、議場コンサートを続けてまいります。次回の議場コンサートは12月定例会での開催を予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。



熊本地震義援金

平成28年4月14日から発生した熊本地震の被災地に対して、4月25日(月)、下野新聞社を通じて那須塩原市議会議員互助会より30万円を寄付しました。

残暑お見舞い申し上げます。

那須塩原市議会

議員個人のお中元、暑中見舞い、初盆などの寄付行為にあたるものは、公職選挙法により禁止されていますので自粛しています。ご理解の程、よろしくお願い致します。

【編集後記】

新たな装いの議会だよりをみなさまにお届けします。今号から横書きで左開き、表紙の写真は議員のための連続研修会の様子を載せています。横書きにしたことで、数字を含め見やすくなったのではないかと思います。いかがでしょうか。

なお、10ページからの「議員の質問と答弁」については文字数が限られているため、その一部分を載せています。詳細はパソコンなどからの録画中継や議事録からご覧いただけます。

さて、9月定例会では、27年度の決算審査が行われます。来年度の予算を決めるためには、決算のしっかりとした審議が必要です。みなさまの税金がどのようなことに使われているのか、関心を持っていただきたいと思えます。

選挙の時以外は見えにくいと言われる議会ですが、議会だよりはわかりやすさ、親しみやすさを目指して6人の委員が知恵を出し合い工夫して紙面を作っています。お読みになってのご感想、ご意見などをぜひお伝えください。

暦の上では秋ですが、暑さ厳しい折から体調をくずさぬようお過ごしください。(山本)



議会だより編集委員会

委員長 齊藤 誠之
副委員長 藤村由美子
委員 星 宏子
若松 東征



議 会 日 誌

4月

- 4日 議会だより編集委員会
- 6日 議会運営委員会
- 7～8日 富山県滑川市訪問
(姉妹都市交流事業)
- 11日 議会だより編集委員会
- 14日 議員全員協議会
議会報告委員会
- 18日 議会だより編集委員会
議会活性化検討特別委員会講演会
- 19日 那須地区議員交流会
(大田原市芸術文化研究所ほか)

5月

- 18日 正副委員長会議
議員全員協議会
- 24日 議会報告会(鍋掛公民館)
- 25日 議会報告会(高林公民館)
- 26日 議会報告会(南公民館)
- 27日 議会運営委員会
議会運営委員会研修会

6月

- 3～24日 平成28年第3回那須塩原市議会
定例会
- 6日 第6回議場コンサート
- 13日 オーストリア共和国リンツ市との
姉妹都市提携調印式
- 15日 総合計画審査特別委員会
- 20日 那須地区議員交流会幹事会
- 23日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
議員全員協議会
- 24日 議会運営委員会研修会

議会を傍聴してみませんか

次の9月議会(定例会)は、
9月2日(金)開会予定です。

議会は会期日程に基づき本庁舎4階で行われています。是非傍聴にお越しください。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

那須塩原市議会 検索

- ◆読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。
- ◆議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

[E-mail] gikai@city.nasushiobara.lg.jp [TEL] 0287(62)7181